

海外帯同中の仕事の状況

* フリーコメントより抜粋

<帯同前と同じ仕事をしている>

- ・時差のしんどさを覚悟しておかないとかなり大変だと思う。
- ・就労許可を得るのに半年はかかる状況だったため、自分は日本に住民票を置いて日本に税金を払って仕事をしていた。
- ・帯同前の会社に引き続きリモートで勤務しているが、足元を見られている感じはする。

<帯同前とは違う仕事をしている>

- ・海外からフルリモートで働ける案件はかなり増えていると感じる。
- ・帯同前の仕事はリモートワークが難しい医療系専門職。現在は近い分野の日本企業でのリモート就業をしている。
- ・就労先が外部機関も使いながら勤務条件を詰めることになるため、会社の協力姿勢を面接時に確認できると良いと思う。
- ・就職先では保障のない福利厚生(健康診断や一時帰国費用など)のサポートが夫の会社から出るようになった。前例を作っていくことの大切さを実感している。

<インターンやボランティアなど、収入の発生しない活動をしている>

- ・現地就労に向けて活動したこともあるが、勤務日程等の条件や夫の会社との税金関係の調整等がネックとなり、ボランティア活動(現地・オンライン)をすることにした。
- ・夫の会社の規定や育児等が理由で働くことが難しく、ボランティアやプロボノ活動でスキル維持に努めている。

<仕事はしていない>

- ・子どもの送迎や学校行事、自分の用事などで時間的な制約もあり、今無理して働かなくてもという気持ちになる。
- ・専門職免許をもっており続けたい気持ちはあるが、帯同先では職務内容が異なり待遇も良くないため、語学などの条件をクリアできたとしてもなりたいと思う気持ちが湧かない。
- ・帯同前も夫の国内転勤の度に転職していた。在宅勤務がほぼ不可能な技術系職種のため、今後は希望自体を変えなければならないと考えている。
- ・働きたかったが、妊活は年齢的に今しかないと思い、迷った末妊活を優先した。